

みたけ夢だより



3月号

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

横浜市立みたけ台小学校

令和4年度もあと1か月 いい締めくくりで次のスタートに！

マスクを外して深呼吸！

「感謝の気持ち」「反省・現状分析 → これからの取組への反映」を大切に

校長 羽田 敏隆

先日は今年度の締めくくりとしての授業参観・懇談会にご参加いただきありがとうございました。皆様に授業の様子を見ていただけたことが大変うれしいです。子どもたちも笑顔がいっぱいでした。

学校説明会はいつでもご覧いただけるようネット上での配信にしました。お配りした紙面と併せてご覧いただけると幸いです。動画配信を有効活用しつつ「顔の見えるつながり」を大切にしたいと思います。

コロナ禍で今年度も厳しい状況が続きましたが、状況の改善と皆様の協力・様々な工夫で少しずつ子どもたちの活動が出来るようになりました。ご理解とご協力をありがとうございました。

○集団登校と個別登校とのハイブリッドへ ～安全への意識とサポートを～



令和5年度からの登校方法について、時間をかけて検討してきました。いろいろな意見を踏まえ「個別登校」を基本に年度当初や長期休業明けは「集団登校」とするハイブリッド型に決定しました。保護者や地域の見守りの方々から「個別登校の方が、あいさつが自然で気持ち良い」という声をいただいています。安全面に対する懸念のご意見もあります。「下級生に声をかける・こころを配る」というみたけ台小の伝統を今後も継続するために上級生に意識づけをしていきます。また青葉警察署に協力をいただいている1・4年生の交通安全教室に加え、今年度行った東急バスによる安全教室も拡充したいと考えています。教職員も通学路の気になる箇所に出向いて安全指導を行う下校サポートを今後も継続していきます。

○大人の役割 ～ 家庭 と 学校 と 地域社会 と それぞれで何ができるか ～

子どもは可愛くて大切な存在ですが、子育てはなかなか大変。エネルギーも必要です。小さくてもひとりの人格。また発達段階に応じて子どもへの関わり方も変わっていきます。子育ての基盤・根底は家庭であり、親の役割が重要なのは言うまでもありませんが、だからこそ親の悩みも大きいと思います。ただ初めから親のベテランはいませんので、悩みを抱えすぎず、共有し相談していきましょう。学校では担任だけではなく、学年職員、チームマネージャー(=TM)、児童支援専任、養護教諭などが情報を共有し相談しながら、いろいろな立ち位置で子どもたちと関わっています。広い視野・多角的な視点を大切にしています。

また、状況や必要によっては「区役所」「療育センター」「児童相談所」「特別支援教育総合センター」「警察」など、子どもの健全育成に関わる機関との連携・協力も必要になります。社会の仕組みを活用し、親も学校も地域社会も含めた「みんなで」、子どもたち「みんなを」育んでいきます。どうぞよろしくお願いいたします。

6年生と1年生の交流のひとコマ
こういう場面もとても大切！



アメリカンインディアン
の“子育て四訓”を紹介します
「乳児は、しっかり、肌を離すな」
「幼児は、肌を離せ、手を離すな」
「少年は、手を離せ、目を離すな」
「青年は、目を離せ、心を離すな」

3/17(金)は保護者の方を2名までご参列いただいて卒業証書授与式を挙行いたします。来賓のご招待はせず、お別れ式など当日の在校生の参加もない形となりますが、81名の卒業生が胸を張ってみたけ台小を巣立っていける、心のこもったあたたかい式になるよう準備を進めています。4月からの新たなステージに向け、卒業までのわずかな時間を大切にしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

2月号に

○節分

前の話になってしまうのですが、
桃太郎に殺されました

○ピンクシャツデー

最終号に

○声の掛け合い あいさつ

○犯罪の少ない安心・安全な街
万引き 空き巣 店員や地域住民
からのあいさつ

できることから少しずつ

気持ちのよいあいさつ

あたたかい言葉

マスクなし

コロナ禍、出口が見えてきた感

よく頑張りました

影響

ピンチをチャンスに

持続可能

希望をもって前向きに 明るく